

- 毎月の検査室だよりはHPにも掲載しています。https://www.palcoop.or.jp/au_ji/kensashitsu/
- 放射能・輸入食肉検査の取り組みは https://www.palcoop.or.jp/radioactiv_lab/



商品検査室だより

12月度

お申し出から生まれ変わった商品たち

より良い商品づくりを進めます

ほかに、[CO・OPアロマ柔軟剤Lalafuwa（ララフワ）の詰め替え時に、どこまで入れたか分からずあふれる]の声から、中身が見えるように、ボトルの横に透明な窓を付けたり、「CO・OPTイレットペーパーがすぐちぎれる」の声から、紙繊維の縦横の絡み具合のバランスを改善し、強度をあげるなど、組合員様のお申し出から、より満足していただける商品づくりを進めています。お気づきの点があれば、ぜひ教えてください。

12月度検査状況(19.11.21～19.12.20)

【商品検査のとりくみ】

商品検査数 1749件（前年同月1860件）

検査の種類	検査件数	注意品及び結果
微生物検査	1028	10（品質上の問題なし）
残留農薬検査	65	なし
理化学検査	378	なし
残留放射能（放射性物質）検査	73	なし
輸入食肉検査	35	なし
外注検査に出したもの	24	なし
その他*	146	なし

※その他…店舗・福祉施設の設備の衛生検査など

【商品の相談受付状況】

180件（前年同月204件）



※写真①

髪の毛が出てきた！

2018年にココラボ商品の茶碗蒸しについて、何件も同様の申し出をいただきました。

原因は、フタのフィルムを剥がす時に容器の樹脂と一緒に剥がれてしまったことでした（写真②）。黒い樹脂がちょうど髪の毛のように見えていたのです。

そこで

メーカーさんに工夫をしてもらい、容器の材質を変更しました。



新素材になった2019年は、このお申し出の発生が

ゼロ
0でした



理事会・監事会報告

2019年度 第8回・9回
12月6日・1月10日

事業概況 (単位：千円)	11 月 度			12 月 度			累計（4月～12月）		
	実 績	計画比%	前年比%	実 績	計画比%	前年比%	実 績	計画比%	前年比%
供 給 高	4,992,435	96.0	101.6	5,391,701	103.2	100.7	43,657,224	99.6	99.6
供給剰余金	1,323,740	96.2	101.9	1,421,926	104.2	102.5	11,536,069	100.3	100.4
福祉剰余金	105	1.5	3.0	1,437	22.3	43.4	1,597	5.0	5.4
事業総剰余金	1,455,057	96.2	101.9	1,551,643	103.5	102.3	12,681,886	100.2	100.5
事業経費	1,308,023	100.2	101.9	1,259,232	98.3	102.6	11,668,064	99.8	103.5
事業剰余金	147,033	70.9	102.7	292,411	134.6	100.8	1,013,821	104.4	74.8
経常剰余金	158,880	71.8	103.4	308,012	131.4	101.2	1,206,863	106.3	79.6

〈監事会報告〉2019年度 第8回定例監事会(12月6日)

- ①11月8日監事会以降の監査状況を報告確認しました。
- ②夕食サポート事業のヒアリングを行いました。

第9回定例監事会（1月10日）

- ①12月6日監事会以降の監査状況を報告確認しました。
- ②店舗事業のヒアリングを行いました。

第8回 おもに討議、確認した内容

- 2019年度2019年11月度事業報告
- 金融機関との取引開始について
- 上期監査意見書
- この間の商品不具合について
- 2019年度総代懇談会のまとめ（案）
- くらし・他団体、支援活動報告

第9回 おもに討議、確認した内容

- 2019年度2019年12月度事業報告
- この間の商品不具合について
- 2019年度年間事業活動のまとめ(案)
- くらし・他団体、支援活動報告

2019年度
第4回
推進学習会
(11月12日)



講師の堀さん

2018年7月に、プラスチックごみの現在の状況を学習しました。

「プラスチックごみの現状から私たちにできることを考えよう」

京橋事務所(本部) 参加136名(組合員活動委員)

2016年から注目された「海ごみ」。「漂着ごみ」は海外から流れ着くイメージを持たれている方が多いですが実は、日本国内からもかなり流出しています。一方、「漂流ごみ」も深刻な問題で大規模な「ごみの島」が太平洋に浮かんでいる状況。その大半はプラスチックで、試算では約5兆個にもなり海洋の生態系に大きな被害を与えています。保津川水系で調査したプラスチックごみの回収物第1位は「飲料ペットボトル」。日本で回収されたペットボトルは海外でのリサイクルに依存していますが限界がきており、これ以上のリサイクルは困難です。さらに海外から流出するプラスチックごみも増え続け、日本からの

流出が少なくても海ごみを通じて世界と繋がっている限り問題は解決しません。ではどうするか。元から減らすが一番！3R（リデュース・リユース・リサイクル）のうち2Rを強めて「脱使い捨てプラスチック」へ転換が必要です。レジ袋をもらわず買い物袋を持参したり、コーヒーマシーンのテイクアウトはマイボトルに入れてもらったり（値引きがあるお店も）。ペットボトル飲料を使わず、スポーツ飲料は粉末を溶かすタイプに、コーヒーはレギュラーコーヒーにするなど。京都市では「リーフ茶（茶葉）の普及でペットボトルを減らそうキャンペーン」を展開し成果を上げています。ぜひ、おいしいお茶を自分で淹れて環境をまもっていきましょう。

【感想文より】

太平洋ごみベルトが日本の国土の4倍になっていて、海底ごみはどれだけあるのかわからないぐらい多くなっているのに驚きました。「おいしいお茶講座」から、ペットボトルの話をひとつの学習会にできたらいいなと思っていました。



←「リーフ茶の普及で、ペットボトルを減らそうキャンペーン」サイトはこちら
https://kyoto-leaftea.net/

2月2回注文書のアンケート欄で

インターネット注文サイト「eフレンズ」からも回答できます
(増資・募金・アンケート・サービス申込みボタンをクリック)

エフ
みんがエコ!

冬の1日エコライフにチャレンジしましょう

私たちのくらしの中から二酸化炭素（CO₂）をなるべく出さないことが、地球温暖化防止につながります。効果的に省エネするには、各家庭にあった省エネが必要です。

家族で決めた1日を「わが家のエコライフデー」とし、できることを選び実際に取り組みます。

下記の問1～問5までをご家族でチャレンジし、2月2回注文書のアンケート欄にご記入ください。

注文番号	エコライフ項目		1日で減らせる二酸化炭素の量
1401	問1	暖房時の室温は20℃に設定する	173g
1402	問2	便座暖房の温度を低く設定する（中→弱）	40g
1403	問3	家族が続けて入浴し、間隔をあげない	238g
1404	問4	家族全員がシャワーを1日1分減らす	80g
1405	問5	自動車運転時はふんわりアクセル「eスタート」	532g

※1日に減らせる二酸化炭素の量は目安です。
参考：省エネルギーセンター「家庭の省エネ大事典」他



1日エコライフに参加した家族の人数を1～9の数字で、2月2回注文書のアンケート欄にご記入ください。メッセージは切り取ってご提出ください。

1日エコライフに参加してみた感想や温暖化防止へのメッセージをお寄せください。

・切り取って配送担当へお渡しください。

パルコoop開発部・環境担当行き